

しもにたしんりん

第10号



富岡市産業祭にて

主 な 内 容

- 第46回通常総会開催
- 新役員紹介
- 森林環境保全直接支援事業
- 市況

第四十六回 通常総会開催

下仁田町文化ホール
五月二十八日（土）

第四十六回通常総会が下仁田町文化ホールにおいて開催されました。組合員数一、四四二名の内一、一三二名（本人出席二五〇名、書面八八一一名、組合員の出席率七八・四％）の出席、並びに来賓多数の出席をいただきました。

組合長挨拶

代表理事組合長 小井土登喜司



地におきましては、日夜を問わず被災者救助や災害対策に全力を尽くしている関係者皆様にご敬意と感謝の意を表します。

日本経済は二〇〇八年秋に発生した金融危機

この度の宮城県三陸沖を震源とした『東日本大震災』におきまして、被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。また被災に、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。また被災

に大きな影響を受け、景気回復が遅れる一方、円高が進み、輸出と内需、共に減少しデフレ状態になっています。森林、林業においても木材価格の低迷など厳しい状況が続いています。こうした状況下ではありますが、二十二年度事業において計画を上回る事業量の確保ができました。施業集約化団地十一箇所実施により素材販売取扱量八千八百立米と目標を達成できました。加工事業においても、公共事業への需要減少が見られたものの、東京都中心に幼稚園等での遊具等販売を伸ばすことができました。

今後国は、「十年後の木材自給率五十％以上」を目指して路網整備、施業集約化、人材の育成、国産材の利用拡大、木材の安定供給体制の確立、雇用の増大を通じた山村の活性化、木材利用を通じた低炭素社会の構築を図ることとしています。昨年十一月に「森林・林業の再生に向けた改革の姿」として最終取りまとめが公表されました。取りまとめでは、森林資源の充実に加わらず、適正な施業が行われない森林が増加

する状況にあることで、森林・林業に関する施策・制度・体制を抜本的に見直し、新たな森林・林業政策を構築するため、①適切な森林施業が確実に行われる仕組みの整備、②広範に低コスト作業システムを確立する条件整備、③担い手となる林業事業者や人材の育成、④国産材の効率的な加工・流通体制の整備と木材利用の拡大を図ることを段階的・有機的に進めることを提言しています。特にこれまでと大きく変わる点は、切り捨て間伐への補助金をゼロベースで見直すということです。基本的には、搬出間伐の森林施業に対して積極的に助成する方針です。とりわけ、施業集約化と作業道の整備を重点的に推進していくようです。組合では昭和四十年より集約化事業（下仁田方式）に取り組んでおります。長年の経験・技術を活かしながら、国の施策に適切に対応してまいります。組合員の皆様には組合事業の円滑な推進に向けて、これまで以上に、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総会の主な概要

総会議案審議

開会の辞 須賀 芳明

組合長挨拶 小井土登喜司

感謝状贈呈 中野 寛一

来賓祝辞 県議会議員 織田沢俊幸

下仁田町長 金井康行

富岡森林事務所長 松本喜久男

議長選任 金井静雄

議案審議 島崎 實 小井土文明 説明

閉会の辞 須賀 芳明

来賓者

群馬県森林組合連合会理事(兼)参事 鈴木 元
 独立行政法人森林総合研究所
 森林農地整備センター前橋水源林整備事務所所長

下仁田町議会社会経済常任委員会 委員長 宮澤 國明

原 秀男

下仁田町議会議長 代理 田村 憲司

岩下 幸弘

富岡森林事務所 林業緑化係

十一号議案 役員選任の件

十号議案 平成二十三年造林補助金取扱手数料率決定の件

九号議案 平成二十三年度余剰金の預入先金融機関決定の件

八号議案 平成二十三年度役員報酬決定の件

七号議案 平成二十三年度借入金金の最高限度決定の件

六号議案 平成二十三年度諸手数料率決定の件

五号議案 保証最高限度及び本組合の本年度内における債務保証の最高限度決定の件

四号議案 平成二十三年度一組合員に対する貸付金の最高限度決定の件

三号議案 賦課徴収の時期及び方法決定の件

二号議案 平成二十三年度事業計画設定の件

一号議案 平成二十二年事業報告・貸借対照表・損益計算書、剰余金処分案・注記表及び付属明細書承認の件

付帯決議案

全ての議案について、慎重審議の結果、原案の通り承認されました。

また、第十一号議案では本年度総会終了時点で役員任期が満了するので役員選任の件が上程され神戸康夫氏（青倉地区）より五月一日の役員推薦会議（構成員七十五名）の経過報告及び役員候補者（理事十六名 監事三名）の提案があり全員承認されました。



祝辞の織田沢俊幸県議



祝辞の金井康行町長



祝辞の富岡森林事務所松本喜久男所長



役員選任の件について説明する神戸康夫氏



選任された金井静雄議長



感謝状贈呈される中野寛一氏

新役員紹介

代表理事組合長に小井土登喜司氏再任（二期）

5月28日理事会

理事
高橋 寛之理事
武田 正副組合長
須賀 芳明代表理事組合長
小井土 登喜司

5月28日の任期満了（3カ年間）に伴い5月28日森林組合の大会議室において代表理事、正副組合長、代表監事、理事の順位、総務・指導・林産各専門委員会の委員及び委員長の選任が行われ決定したので紹介いたします。（平成26年5月総会終了時まで）

理事
工藤 栄一理事
神戸 幸作理事
佐藤 忠司理事
石井 健一理事
飯島 鶴吉理事
佐藤 博一理事
黨 實理事
並木 京一理事
佐藤 正利理事
田村 晃理事
下山 道雄理事
廣澤 岩男監事
永井 暢吉監事
斉藤 豊治代表監事
古市 金一郎

退任役員

永年に亘り森林組合の運営にご尽力賜りまして誠にありがとうございました。

西牧地区 小金沢友平 岩井 昌作 安藤 亀雄
柳沢 利明 岩井 恒和
小坂地区 永井 篤衛 石井 茂
下仁田地区 小金沢三夫 市川 宏幸 中村藤太郎

役 職	氏 名
代表理事組合長	小井土 登喜司
副組 合 長	須賀 芳明
代 表 監 事	古市 金一郎
総務委員会委員長	武田 正
委 員	佐藤 忠司
〃	神戸 幸作
〃	飯島 鶴吉
〃	佐藤 正利
〃	永井 暢吉
指導林産委員会委員長	高橋 寛之
委 員	工藤 栄一
〃	佐藤 博一
〃	石井 健一
〃	並木 京一
〃	黨 實
〃	廣澤 岩男
〃	下山 道雄
〃	田村 晃
〃	斉藤 豊治

任期 平成23年5月28日～平成26年5月総会終了時

決算報告

①組合員数

(人)

資格区分	前期末	当期加入	当期脱退				合計	当期末
			任意脱退	資格喪失	死亡または解散	除名		
正組合員	1,450	5	3	-	10	-	13	1,442

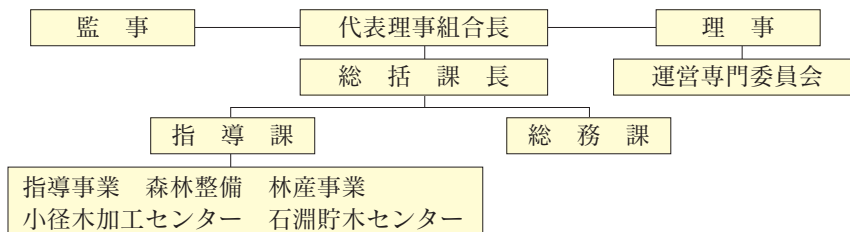
②出資口数

(口)

資格区分	前期末	当期末増加	当期減少	当期末
正組合員	414,862	24	416	414,470

82,894,000円

③組織の構成



貸借対照表

平成23年2月28日

科目	合計	科目	合計
資産の部	円	負債の部	円
流動資産	114,469,660	流動負債	64,652,832
固定資産	175,687,296	固定負債	28,051,324
		出資金	82,894,000
		利益剰余金	114,292,563
		資本準備金	266,237
資産合計	290,156,956	負債・純資産合計	290,156,956

損益計算書

科目	収益	費用	損益
I 事業総損益	円	円	円
指導事業	2,308,260	1,347,988	960,272
販売事業	93,913,139	82,146,500	11,766,639
加工事業	86,701,938	70,220,685	16,481,253
森林整備事業	257,965,977	162,806,864	95,159,113
事業総利益	440,889,314	316,522,037	124,367,277
II 事業管理費			
1. 人件費		83,234,815	
2. 旅費交通費		513,043	
3. 事務費		2,228,634	
4. 業務費		3,190,400	
5. 諸税負担金		10,648,628	
6. 施設費		24,882,899	
7. 雑費		805,577	
事業管理費			125,503,996
事業利益			△1,136,719
III 事業外損益			
事業外収益	2,927,452		
事業外費用		265,872	
事業外損益			2,661,580
経常利益			1,524,861
IV 特別損益			
1. 特別利益	18,841,351		
2. 特別損失		19,274,500	
特別損失			△433,149
税引前当期純利益			1,091,712
法人税・住民税額及び事業税額		180,000	
当期剰余金			911,712
前期繰越剰余金			1,980,851
当期末処分剰余金			2,892,563

表彰

下仁田町森林組合 感謝状

(永年勤続)

中野寛一氏



中野寛一氏

甘楽富岡林業振興協会
林業振興功労表彰

小金沢三夫氏

平成8年5月から平成23年5月まで下仁田町森林組合の理事として組合運営及び地域林業の振興に貢献した。



小金沢三夫氏

林業振興功労表彰

小金澤一郎氏

森林組合参与員及び施業計画に施業実行組織員として森林所有者の合意の形成を中心に地域活動(座談会)等に積極的に参画支援され、森林施策、路網開設の実現に向けた課題解決に取り組み、地域林業の振興に貢献された。



小金澤一郎氏

群馬林政推進協議会
林業功労者表彰

島崎 實氏

集団間伐事業推進や人材育成の確保、基盤整備等森林組合発展に尽力



島崎 實氏



座談会

群馬県収穫感謝祭実行委員会 農業功労者表彰

(林産振興部門・林業)

小井土登喜司氏

下仁田町森林組合長として地域林業振興に貢献するとともに、所有林の経営にあたっては、優良木生産のための枝打ち、間伐の推進、作業道開設など率先して実行し、地域林業の推進にあたった。



小井土登喜司氏

ヨガ教室 開催!!

ヨガは独特な呼吸法が特徴で、終わったあとは爽快感が味わえ、続けるとヨガの浄化作用で人にとって有害な毒素や使われない組織などは、老廃物となって体外へ排出され、自律神経も安定する体操です。お誘い合わせの上、ぜひ参加してください。

日程 隔週水曜日19:00~20:30

場所 下仁田町公民館3階談話室

講師 石川睦美先生

費用 500円/1回

持ち物 タオル・水・ヨガマットもしくはバスタオル持参してください

・できるだけ2時間前に食事を済ませてください(軽食)

・締め付けのない動きやすい服装でお越しください。

問い合わせ・申込み 下仁田町公民館 TEL0274-82-3535

※講師の石川先生は森林組合小林豊さんの奥さんです。

理事会報告

平成23年5月28日(土) 午後4時
出席者

第1号議案 代表理事の選任について
第2号議案 組合長、副組合長の選任及び理事の順位について

平成23年6月11日(土) 午後2時

出席理事15名 出席監事2名

第1号議案 平成23年度役員報酬各人毎支給額決定について
第2号議案 平成23年度組合員加入金について
第3号議案 平成23年度手数料・建設機械運搬車両使用料・受託林産事業の機械使用料について
第4号議案 総務・指導委員会委員の選任について
第5号議案 事業概要報告について
第6号議案 職員・従業員賞与支給について
第7号議案 その他

平成23年9月7日(水) 午後 4時

出席理事14名 出席監事2名

第1号議案 固定資産取得(チェーンソー・デジタルコンパス)について
第2号議案 分収林契約(群馬県林業公社)経過報告について
第3号議案 その他 チェーンソー・刈払機点検及び目立て講習会・安全講習会実施について

平成23年10月31日(月) 午後 1時30分

出席理事14名 出席監事3名

第1号議案 平成23年度上半期業務及び仮決算承認について
第2号議案 コンプライアンスについて
第3号議案 その他 作業道関係の町補助金嵩上げ陳情について



現地研修丸岳団地(団地面積75ha作業道延長2,650m)

監査会及び監事会

平成23年5月9日(月) 出席監事3名

第1号議案 平成22年度業務報告書・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案・注記表・付属明細書等

平成23年10月25日(火) 出席監事3名

第1号議案 平成23年度森林組合上半期事業報告書・貸借対照表・損益計算書等

監事会

平成23年5月28日(土) 出席監事3名

第1号議案 代表監事の選任について

平成23年6月11日(土) 出席監事2名

第1号議案 平成23年度役員報酬(監事)各人毎支給額決定について

下仁田町へ要望書を提出

11月10日、小井土組合長、須賀副組合長、武田総務委員長、高橋指導林産委員長、小井土指導課長で「作業道開設及び修理費用に対する助成についての要望」を下仁田町長、議会議長、社会経済常任委員長へ要望いたしました。

要望書

下仁田町長 金井 康行 様
下仁田町議会議長 千野 榮治 様
社会経済常任委員長 高瀬 政信 様

作業道開設及び修理費用に対する助成についての要望

平成23年11月10日

(要旨)

作業道開設及び修理費用に対する補助金額の高上げに關する要望

(理由)

当組合では戦後造成された人工林の間伐推進のため、昭和40年代より路網整備を行い経費節減と施業成果の実現を可能にできました。しかし、近年木材価格の低迷と森林所有者の高齢化に伴って、所有者の世代交代による不在村化が進んでいます。このことから全組合員を対象とするアンケート調査(平成21年実施配布1,399人回収1,132人81%)し、その結果、「境界の確定」「作業道の整備」「森林整備」「森林及び立木の販売」等要望が多数ありました。これらの意向により作業道を適切に配置し、境界確定及び材を出すことを目的に実施してまいりましたが、木材価格の低迷により、支障木と間伐材を負担に充当できない状況です。

つきましては、町財政も大変な折かとは存じますが、補助金額の高上げにより、所有者の負担を軽減し還元を確かなもの出来るようにお願い申し上げます。

造林補助事業が大きく変わります！

本年から新たに「森林環境保全直接支援事業」が創設されました。

1 目的

面的なまとまりを持った森林で、自然地形を活かした路網整備と木材搬出を一体的に進めることで施業のコストダウンを進めます。

2 支援対象者

- (1) 森林施業計画の認定を受けた方（現計画期間中）。
- (2) 24年度以降は、新たに制度化される森林経営計画の認定を受けた方。

3 支援対象作業

- 造林（地拵え、植栽等）
- 下刈り（針葉樹6年生以下、広葉樹10年生以下）
- 除間伐（25年生以下）
 - ※26年生以上の切捨間伐については、搬出間伐と一体的に行うこととなります。
- 枝打ち（30年生以下）
- 雪起し・倒木倒し（25年生以下）
- 間伐（60年生以下）※搬出を伴う間伐に限られます。
- 更新伐（90年生以下）※搬出を伴う抜き切りや小面積の皆伐です。
 - （育成複層林の造成・広葉樹林化の促進・天然林の改善）
- 付帯施設等整備（鳥獣外防止施設等・人工林への侵入竹の伐採）
- 森林作業道整備
 - （上記作業については、区域面積0.10haでの申請が可能です。条件により上記と異なる林齢の制限がある場合があります。）

4 間伐と更新伐の条件

- ・集約化実施計画の対象森林※24年度以降は森林経営計画の対象森林
- ・5haの実施箇所をまとめて申請、事前計画の作成
- ・実施箇所1ha当たり平均10㎡以上の木材を搬出することが必須

●ポイント

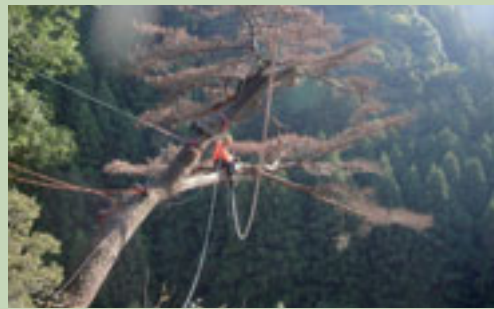
- ① 集約化し計画的な施業を行う山林所有者を支援（森林経営計画作成者等）
- ② 間伐等は5ha以上の実施箇所をまとめて実施し、平均10㎡/ha以上を搬出する。
- ③ 路網整備は間伐等の森林施業と一体的に実施する。
- ④ 集約化に必要な境界確認等の活動を支援する。

※森林経営計画作成においては、組合員さんに作業要望等聴き取り、役員・参与員さんと相談しながら、来年の9月を目安に作成します。ご協力をお願いします。

問い合わせ 下仁田町森林組合 ☎0274 (82)2306



伐採木は県道へ落とすことはできないため、スイングロープにより尾根に引き上げる



伐採木から下は県道で高さは50m位ある



ザイルロープで体を宙吊りにした作業



崖から県道に伸びた斜めの松枯れ木の伐採完了

特殊な伐採は お任せください

危険木や大径木・不要木や道路障害木等、特殊な伐採もお任せ下さい。

樹木が大きく成長してお困りではありませんか、樹木が家屋に覆いかぶさって倒れてきそう、枝が伸びすぎて危険を感じていませんか。樹木の大小にかかわらず急斜面や樹木を倒せない狭い場所、クレーンや高所作業車が入れない場所でも安全に作業します。

見積もりは無料ですが、現地確認し判断しますので依頼主の立会が必要です。

又万一に備えまして請負損害賠償保険も完備しておりますので安心してお任せ願います。

写真の作業はロープアクセス（ツリークライミング・レスキュー隊に似たもの）技術が必要とした高所作業（壁面・急斜面作業、樹木高所など）、木に登りロープワークを駆使して作業実施しています。

労働安全衛生大会が、平成23年1月17日より毎月1回実施されています。安全大会内容は「リスクアセスメント」の話合いと今月現場での危険作業「ヒヤリハット」報告があります。伐倒を安全に作業するために、作業準備から伐倒までのプロセスを考えながら作業手順を話し合い、危険要因を洗い出す訓練をやります。今回は1月17日にAED救命救急講習会及び消火器取り扱い方を「下仁田町消防署」(写真) 職員の指導により行われました。

また7月度には、組合長が未来に向けて安全衛生活動を進めていく決意と、働く方々の安全と健康を守り抜く決意「安全の誓い」として表明しました。

平成23年 労働安全衛生大会



安全衛生委員会組合長挨拶



AED取り扱い方を受講



消火器の取り扱い方を下仁田消防職員の方々より講義



森林・林業の普及、啓発活動

植樹祭及び森林の整備(間伐)

森林体験学習を実施

下仁田の街より西方面に位置する「神津牧場入口」において、11月13日(日)に総数60名の参加により、植樹祭及び森林の整備(間伐) 森林体験学習が実施されました。住宅メーカー「四季の住まい」(小井土靖社長)と下仁田町森林組合(小井土登喜司組合長)が企画され今回で4回目の体験学習となりました。今回参加された方々は、住宅メーカーの木造建築を発注し、木造建築に関心が深い方で、自然環境にも興味を抱いている方、自然散策を趣味としている方々で、盛大に開催されました。

山に囲まれた下仁田町では、森林の環境を守ることが私たちの生活環境を守ることに繋がります。それには、木を切つて、活かして、そして植えるというサイクルをずっと継続することが大事です。しかも、木は再生可能な資源としては優等生、その価値をよく知って、木がある生活を楽しんでもらうには、実際に植樹を体験することによって、環境保護や自然とふれあうことの大切さを今後も進めていきます。



森林整備の必要性と素敵な思い出になるように、小井土課長挨拶



親子で成長を願いながらていねいに植樹



林業技能競技会に

下仁田町森林組合から2名参加

10月16日、富岡市大橋山県有林内においてチェーンソー技術を競う大会が開かれました。今年で3回目を迎えるこの大会に、三枝義明(横浜市出身)と宮本奈枝(東京都出身)が参加しました。17名の参加者の中でただ一人の女性である宮本奈枝さんも挑戦しました。

に入り、先輩たちの指導のもと、木の伐採などの作業を熱心に学んでいます。自ら参加を希望した競技会には、ベテランも出場しました。この競技の様子はNHKテレビ1都6県で放映されました。男性たちに交じって、チェーンソーを軽々と持ち、木を切り倒す彼女を応援よろしくお祈いします。

宮本奈枝(東京都出身)さんは、群馬県の農林大学校で林業を学ぶ中で、森林組合の存在を知り、子供の頃から山での仕事に憧れを抱き、当組合に平成21年に生涯林業の仕事が続けていきたいと入社されました。一日中山



NHKの撮影と競技の様子



参加した宮本さんと三枝さん



伐採前に伐採方向の確認

加工センター情報

木製遊具の展示会開催しました

東京都中野サンプラザで第3回遊具展示会を開催

平成23年7月26日と27日に中野サンプラザ展示会場で木製遊具等の展示会を開催しました。

この展示会は下仁田町森林組合と富岡市に商品センターがある(株)桃源堂(東京本社)で共同実施し今回で3回目となる。東京を中心に神奈川県・埼玉・千葉等の幼稚園関係者と子供たちを招待し盛大に開催されました。

森を守るために大切なのは、木をもっと使っていくことです。木をたくさん使えば、それだけ林業が活性化されます。手が行き届くと二酸化炭素(CO₂)をたっぷり吸収する健全な森が育ちます。

間伐材は土木事業関連製品のほかにログハウス、物置、家具、遊具などの注文があり、多数の製品を作り続けています。



▲東京都の遊具



▲園関係者に木製遊具説明



▲札幌市の遊具



▲木工工作

チェーンソー・刈払機の点検及び目立て講習会

10月29日(土)に組合員向けにチェーンソー・刈払機の点検及び目立て講習会が開催されました。

当日は機械点検に新ダイワ(株)と三山工業(株)の講師を迎えチェーンソー・刈払機94台の点検が実施されました。

また、富岡森林事務所の岩下さんによる目立及び安全講習会が午前と午後2回行われ、41名の組合員が参加しました。



▲三山工業による目立て講習



▲安全講習会



▲新ダイワ及び三山工業技術者による機械点検



▲チェーンソーの点検

▼市況

石淵貯木センターの木材共販市の状況です、組合買取受託生産、碓氷川森林組合様、南牧村市川様等委託販売により毎日木材が入荷しています。県内は勿論、栃木県、埼玉県の木材・製材業者を迎えて販売されています。

今回は第150回（10月20日）及び第151回（11月21日）に素材入札が行なわれ、出材量は、第150回が537㎡（落札率93.9%）第151回は543㎡（落札率78%）でした。

お知らせ

木材の品不足が依然として続いています、木材を売りたい考えのある方は、お気軽に御相談ください、調査費等はかかりません、お待ちしております。

（指導課 小井土まで）

市況表

樹種	長さ	径級	平成23年10月20日	平成23年11月21日
			平均	平均
すぎ	3	14~16	12,095	11,170
	3	18~20	12,627	11,079
	3	22上	11,983	10,394
	3.65	16~24	12,187	
	3.65	26上	10,750	
	4	20下	13,550	12,690
	4	22~28	12,788	11,904
	4	30上	12,160	13,812
ひのき	5	30上		12,800
	4	10~13	10,900	
	4	18~22	18,600	17,100
	4	22~28		
まつ	4	30上		
	4	22~		9,800

森林組合人事

定年退職

- 従業員 中野 寛一

永年の勤続ありがとうございました。これからのますますのご発展をお祈りいたします。

新規採用者

- 武藤 大介（指導課） 21歳 出身 高崎市

私は林業を極めたいと思います。そのために先輩から指導を受け勉強中です。

未熟者ですが、組合員さんの顔を早く覚え役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

- 小林 愁平（造林班） 30歳 出身 安中市

安全作業に留意しながら、実力をつけて早く一人前の戦力になり

- 大川原 賢司（加工センター） 39歳 出身 安中市

先輩方の指導しつかり自分のものにして一日も早く一人前になれるように頑張ります。

- 小林 豊（造林班） 31歳 出身 草津町

安全にケガの無いように着実に技術を身につけられるよう努力し

- 田村 俊彦（貯木センター） 31歳 出身 甘楽町

覚えることがたくさんありますが、一日でも早く自分のものになるように頑張ります。

2011年12月

発行 下仁田町森林組合

群馬県甘楽郡下仁田町大字下小坂45-7

TEL 0274(82)2306

〒370-2623

http://www.snt-shinrin.or.jp
E-mail shimonita@snt-shinrin.or.jp